

ずいそう

## 私と建設機械と海外生活

遠入正行



この業界で働き始めてもう40年になります。最初は米国P&H社からの技術供与による電気ショベルの海外技術サービスで、オーストラリア、米国、フィリピンを行き来しました。最初の出張先はオーストラリアのHAMASLEY 鉱山で、鉱山で話す独特の汚い英語が理解できませんでした。しかし女性がいると器用にもきれいな英語に切り替えるのには全く驚いてしまいました。最近HAMASLEYを母体とする世界的な鉱山会社のRIO TINTOの社長さんと副社長さんに会う機会があり、私の最初の海外出張はHAMASLEY(最初の海外旅行でもあった)であったことを話すと、とても喜んでくれました。今でもHAMASLEYのきれいな空気と食堂の食べ物の豊富さを思い出します。37年前はまだ日本は貧乏でした。

1976年にP&H社の本社のあるミルウォーキーに駐在となりました。駐在先はサービス部で世界各地から技術の問い合わせがあります。最初は電話を取るのが非常に億劫でした。しかし教習所でアメリカ人のお客さんを教育できるまでになり、充実感がありました。

1977年にはチリのチュキカマタ鉱山に駐在しました。オープンピットの鉱山では世界最大の高山です。ここは海拔3000mで、初めての人は酸素不足となり高山病にかかる人もいます。電気ショベルは800tもある大きな機械で、会社が93%の稼働保証を行ったので24時間365日稼働する機械の面倒を見るのは大変でした。

夜中でもショベルが止まるとすぐに電話がかかって来ます。これでは土曜、日曜日どこにもいけません。鉱山のメンテナンスクルーをトレーニングして機械が不具合を起こしても彼らで対処できるようしました。時間はかかりました。これで近くのとはいっても300km離れた港町のアントファガスタへ行くことができました。チリは3W(3つのW)が有名です。WOMAN, WEATHER, WINE。本当に女性はきれいで車を運転してるとついつい脇見運転してしまいそうでした。当時はピノチェット大統領のときで夜中の12時以降は外出禁止でした。しかし鉱山は24時間動いていますので、私は24時間動ける許可書を持っていました。鉱山の近くにカラマという町がありました

が、ここで飲んで12時になると皆私の車に乗ろうとします。途中軍隊の検問がありますが私の車は24時間移動可能な許可書があるので、これを知っている友人が我先にと私の車に乗るのです。

1980年からはフィリピンに駐在しました。家は周りが塀で囲まれた住宅地にあり、その住宅地にはカントリークラブがあり、ゴルフ場、屋内外テニス場、スイミングプール、なんとポロの競技場まであるところで、貧乏な国、日本から行った私にとって驚きを通り越してボーゼンとしてしまいました。住み込みのメイドが3人、運転手1名で、私の会社への送り迎え、子供の学校への送り迎え、嫁さんの買い物等、運転手はフル回転でした。すばらしい運転手にも恵まれました。買い物にスーパーへ行くと入り口で運転手が車から降りてくれます、買い物を終わって出てくると、たちまち車が店の前に来て車に乗るわけですが、運転手は我々が出てくるのを見ておいて出たらすぐ車を回すのです。フィリピンには5年間いましたが、マニラの大邸宅から日本の社宅、たぶん50m<sup>2</sup>へ帰ってきたときに娘が私に聞きました。パパ明日学校にはどうやって行くの？ 私は答えました。もちろん歩いていくのだよ。

娘が言いました。パパ貧乏になったの？ このアパートはチキンケージみたい。

フィリピンでの顧客は鉱山で、よく山奥の鉱山を訪問しました。ミンダナオでは途中ゲリラが出る場所があり、ここを突破するのが大変でした。鉱山の連中は本当にいい人で私が行くと歓待してくれました。

1988年に電気ショベルから油圧ショベル担当になりました。800tから20tですから気落ちしてしまいました。しかし1989年から、アメリカに工場をたてそこの品質の責任者として赴任するとたちまち忙しくなりました。しかし娘3人をアメリカの学校に行かせるのには苦労しました。英語がわからないので学校に行きたくないといひ始めたのです。私も会社から帰ったら彼女たちの宿題を手伝うのですが、これが難しい。生物、物理まったくわからない。そこで家庭教師を雇うことにしました。学校に相談すると、なんと娘のあの学科の担任の先生が家庭教師をやってもよいとの事

で、私はこれで私が解放されると喜びました。先生は学校でテストに出そうなところの情報を基に家に来て教えてくださったので、娘たちはもう学校はいやだとは言わなくなりました。その先生には、駐在の7年間ずーっとお世話になりました。

よく家族とともに車で旅行をしました。アメリカは広くてきれいな自然がたくさん残っています。日本は小さな家が所狭しと建っていますが。

アメリカで住んでいた家も大きな家でした。とてつもなく広い庭。この芝刈りが大変でした。芝刈りは男の仕事ということで女房はやりません。アメリカの家は隣との境に塀がありませんから芝生で続いています。芝を刈らないとお隣の芝とに段差ができてしまいます。最後はトラクターを買って芝刈りをするようになりました。芝は刈っても刈った芝を捨てるのが又大変。ゴルフの好きな私は、芝刈りで時間をとられるのが大問題でした。

帰国前の数年間は副社長兼工場長で、素晴らしいアメリカ人の部下に恵まれました。

アメリカから帰国して生産管理の仕事をやり、提携先のイタリア担当となり、イタリアにはよく行きました。なにせワインがうまい。モンブランにも登りました(3,000 mのところにある展望台までですが)。このときの光景は忘れられません。

このような素晴らしいVIEWを創造したのは、神以外にありえないと思いました。宇宙飛行士が地球を見て、その美しさのあまり神の存在を感じたのと同じです。

長い間外国の人とつきあい、仕事では時には机をたたいて議論もしましたが、重要なことは、相手の文化を理解することです。長年建機の仕事をやって、多くの友人ができましたが、それが私の財産だと思っております。

—えんにゆう まさゆき コベルコ建機(株) 営業本部 副本部長—

## 「建設機械施工ハンドブック」改訂4版

建設機械及び施工の基礎知識、最新の技術動向、排出ガス規制・地球温暖化とその対応、情報化施工などを、最新情報も織り込み収録。

建設機械を用いた施工現場における監理・主任技術者、監督、世話役、オペレータなどの現場技術者、建設機械メーカー、輸入商社、リース・レンタル業、サービス業などの建設機械技術者や、大学・高等専門学校・高等学校において建設機械と施工法を勉強する学生などに必携です。

建設機械施工技術の修得、また1・2級建設機械施工技士などの国家資格取得のためにも大変有効です。

【構成】

1. 概要
2. 土木工学一般
3. 建設機械一般
4. 安全対策・環境保全
5. 関係法令

6. トラクタ系機械
7. ショベル系機械
8. 運搬機械
9. 基礎工事機械
10. モータグレーダ
11. 締固め機械
12. 舗装機械

●A4判/約800ページ

●定 価

非 会 員：6,300円 (本体6,000円)

会 員：5,350円 (本体5,095円)

特別会員：4,800円 (本体4,570円)

【ただし、特別価格は学校教材販売(学校等教育機関で20冊以上を一括購入申込みされる場合)】

※送料は会員・非会員とも沖縄県以外700円、沖縄県1,050円

※官公庁(学校関係を含む)は会員と同等の取扱いとします。

●発刊 平成23年4月

一般社団法人 日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 (機械振興会館)

Tel. 03 (3433) 1501 Fax. 03 (3432) 0289 <http://www.jcmanet.or.jp>